

2008年(平成20年)

9月12日

金曜日

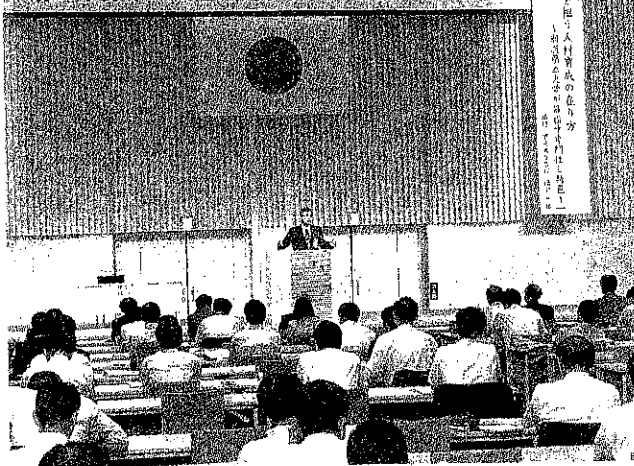
新潟日報

〒950-8501 新潟市中央区 会津 八一

発行所
新潟日報社

〒950-1189
本社 新潟市西区善久772-2
郵便振替口座 00620-2-538

平成20年度第14回全国進学指導研究大会(北信越大会)



進路指導熱く議論

新潟 高校教員が全国大会

高校の教員が生徒の進路指導について研究、協
議する「第十四回全国進
学指導研究大会」が十一
日、二日間の日程で新潟
市中央区の朱鷺メッセで
始まった。初日は、人材
育成についての講演や大

進路指導法について意見
を交わした全国進学指導
研究大会11日、新潟市
中央区の朱鷺メッセ

進学指導の在り方をテ
ーマにしたパネルディス
カッションが行われた。
高校教員らでつくる全国
高等学校進学指導協議会
などが主催。県内外の公
私立高校の進路指導担当
教員ら約二百七十人が参
加した。

来年四月に県立大学学
長に就任予定の中央大
(東京)の猪口孝教授が
講演。偏差値重視の大学
入試に疑問を投げ掛け、
「実行力のある人材を育
成するためには、突然起
きた問題に対応できる調
査力や判断力を養うこと
が必要」と強調した。

パネルディスカッション
では、女子栄養大(埼
玉)の染谷忠彦常任理事
らが大学の多様化に合っ
た進路指導法について話
し合った。

新潟中央高の佐藤一彦
教頭(右)は「目先の入試

だけでなく、生徒の将来
を見据えた進路指導が必
要だと思った」と話して
いた。十二日は北信越地
域の高校教員が各校の進
路指導の取り組みについ
て発表する。

平成20年6月1日

各高等学校長 様

全国高等学校進路指導協議会
会長 藤井文雄
北信越高等学校進路指導協議会
会長 久保田幸正

平成20年度第14回全国進学指導研究大会（北信越大会）の開催について（御案内）

初夏の候、貴職におかれましてはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素から、全国高等学校進路指導協議会並びに各地区高等学校進路指導研究協議会の活動に対し、御理解と御支援をいただき心から感謝申し上げます。

さて、標記の大会を今年度北信越地区が主催し、開催することとなりました。本大会は、望ましい進学指導の在り方を研究するため、上級学校と高校現場の進路指導関係者が一堂に会し、それぞれの立場から意見交換を図ると共に、教育の質を高めることを目的として毎年開催されているものであります。

何卒、趣旨を御理解の上御出席くださいますよう御案内申し上げます。また、関係教諭の派遣につきましても、格別の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 主 催
全国高等学校進路指導協議会 北信越高等学校進路指導協議会
- 2 主 管
新潟県高等学校進路指導協議会
- 3 後 援（申請中）
文部科学省 全国高等学校長協会 北信越高等学校長協会
新潟県・長野県・富山県・石川県・福井県・新潟市各教育委員会
- 4 日 時
平成20年9月11日（木）13時～ 9月12日（金）12時
- 5 会 場
「朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター」
〒950-0078 新潟市中央区万代島6-1 TEL 025-246-8400
- 6 テーマ
(1) 全 体『各校の特色・専門性を生かした進学指導の在り方』
(2) 分科会
・第1分科会「大学進学(一般入試)を目指す進学指導の在り方」
・第2分科会「多様な施策に取り組む学校の進学指導の在り方」
・第3分科会「学校間連携による進学指導の在り方」
・第4分科会「専門高校からの大学進学(推薦入試)を目指す進学指導の在り方」
- 7 参加者
高校、大学、短大、専修・各種学校などの教員及び関係者300名を予定
- 8 資料代
3,000円（情報交換会は別途6,000円）
- 9 申込み
平成20年8月8日（金）までに別紙申込用紙でお願いします。
問い合わせは、全国進学指導研究大会実行委員会（新潟商業高等学校）板井 健治
〒951-8131 新潟市中央区白山浦2-68-2
TEL：025-266-0101 / FAX：025(230)4751

10 大会日程

【1日目】9月11日(木)

- 12:30~13:00 受付
 13:00~13:30 開会式
 13:30~15:00 記念講演
 演題『未来を担う人材育成の在り方
 ~新潟県立大学が目指す専門性と特色~』(仮題)
 講師 中央大学教授 新潟県立大学学長予定者 猪口 孝
 15:15~16:45 パネルディスカッション
 テーマ『各校の特色・専門性を生かした大学進学指導の在り方』(仮題)
 コーディネーター 千葉 吉裕 (全高進事務局長 都立晴海総合高等学校教諭)
 パネリスト 染谷 忠彦 (女子栄養大学 広報部長)
 小林 哲夫 (朝日新聞出版「大学ランキング」編集部)
 16:45~16:55 諸連絡
 18:00~20:00 情報交換会
 「ホテル日航新潟」
 〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1

【2日目】9月12日(金)

- 8:30~9:00 受付
 9:00~11:00 研究発表

第1分科会 『大学進学(一般入試)を目指す進学指導の在り方』	
『上田高校における大学進学の取り組み』	長野県上田高等学校 教諭 宮澤 典彦
『武生東高校の進路指導について』	福井県立武生東高等学校 教諭 浅野 裕治
『難関大を目指した学習体制の充実』	新潟県立新潟高等学校 教諭 加藤 幹男

第2分科会 『多様な施策に取り組む学校の進学指導の在り方』	
『キャリア教育の在り方 ~モトリウム傾向の改善及び進路意識の向上を目指して~』	石川県立小松商業高等学校 教諭 本谷千恵子
『小杉高校の取り組みについて ~伝統を元に新たな発展を探る~』	富山県立小杉高等学校 教諭 中田 靖弘
『中等教育学校における進路指導の実践と課題』	新潟県立村上中等教育学校 教諭 丹羽 孝幸

第3分科会 『学校間連携による進学指導の在り方』	
『穂高商業高校における高大連携の取り組み』	長野県穂高商業高等学校 教諭 小平 紀文
『中高一貫教育の概要と課題』	福井県立金津高等学校 教諭 川畑 順一
『高度な資格取得に視点を置いた進学指導体制の確立 ~高専連携による資格取得講座等~』	石川県立小松商業高等学校 教諭 山田 雄二

第4分科会 『専門高校からの大学進学(推薦入試)を目指す進学指導の在り方』	
『学校全体で取り組む小論文及び面接指導』	富山県立富山商業高等学校 教諭 嶋田 恵子
『地方の小工業高校のできる事、やらなければならない事』	長野県飯田工業高等学校 教諭 下岡 隆志
『新潟商業高校の推薦入試結果と成果』	新潟県立新潟商業高等学校(現 新潟県立白根高等学校) 教諭 星野 信明

- 11:10~11:40 分科会報告
 11:40~12:00 閉会式



発行所
 〒169-0073
 東京都新宿区百人町
 2丁目17番24号
大学新聞社
 TEL 03-5925-1668
 FAX 03-5925-1669
 E-mail
 info@daigakushinbun.com
 郵便振替口座
 00150-5-165564
 (一部200円)
 ©大学新聞社 2008

第14回

全国進学指導研究大会(北信越大会)

「大学の教育力が上がった」

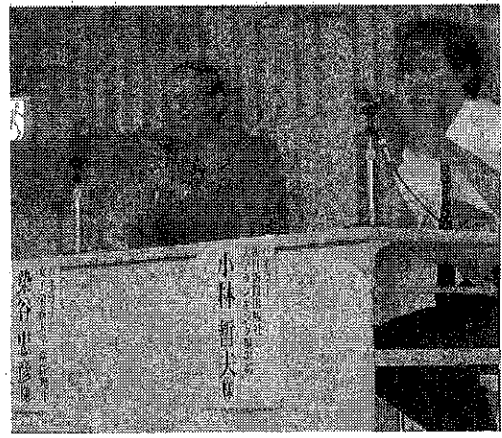
全国高等学校進路指導協議会は9月11日と12日、進路指導の在り方に關する研究大会を、新潟県で開催した。

今年で14回目を迎え、「各校の特色・専門性を生かした進学指導の在り方」をテーマに行われた今大会。初日には、はじめて、来年度より開学する新潟県立大学の学長に就任予定の、猪口孝教授による講演が行われ、続いて、全高進事務局長の千葉吉裕教諭、女子栄養大学常任理事の染谷忠彦氏らによる、実践報告が

行われた。

新潟県出身の猪口教授は冒頭の講演で、自らの

二日目は、▼大学進学(一般入試)を目指す進学指導の在り方▼多様な施策に取り組む学校の進学指導の在り方▼学校間連携による進学指導の在り方▼専門高校からの大学進学(推薦入試)を目指す進学指導の在り方の、四つの分科会に分かれて、



大会に参加した染谷氏(左)と小林氏

高校時代をふり返り、新潟県の進路指導の状況や、江戸時代の藩校における教育の在り方など、特に日本のエリート教育の歴史や、中央集権的な日本の教育体制について触れた。

そして、「これからは地方の時代。かつての国

立大学も独立行政法人化をもって発信していく時代とし、もはや大学は中央政代となった」とし、新潟府にコントロールされる県立大学の学長就任への時代から、各地方が個性意欲をにじませた。